

たじみん昼話 23

精一杯の努力の後の挫折こそ飛躍へのエネルギー!

予定をドタキャンされた女性（女優の橋本環奈）が、スマートフォンでアルバイト探しをする会社のCMを知っているだろうか。このCMは、面接なしの1日労働を可能にした、単発アルバイトのマッチング業務を行う「タイミー」という会社のもので、小川嶺（立教大学4年生22歳）君が2017年8月に設立した。右肩上がりに成長して、現在利用者数43万人規模の会社で、JR東日本など複数の名だたる企業が応援協力している。

この会社は失敗や挫折の繰り返しの産物だと小川君は語る。起業に失敗して借金を抱えた小川君は、返済のために数々のアルバイトをする。そこでの不満を形にしたのがこの会社の業務内容だ。起業後も様々な壁にぶつかり、数多くの挫折を経験する。しかしリクルートやサイバーエージェントなど、8社での壮絶なアルバイト経験を糧に乗り切ったという。特に役立ったのは、1日8時間ひたすら営業電話をかけ続けたリクルートでの過酷な6カ月だという。断られ続け、時には罵声を浴びせられながらも、次第に話をつなぐ技術や相手の思いを汲み取る技術、強いメンタルの持ち方を身に着けたという。これが、後に力を発揮する「コミュニケーションスキル」や「営業技術」の構築に繋がったとしみじみ語っている。そして何より、この経験をもとに地味にユーザーの声を拾うスキルを持つことが出来たからこそ、今の会社を設立することができたという。

挫折しながらやってきた彼自身が最も驚いているのは、いつのまにか強固な自信を身につけたことだ。挫折して自信を失いながらも挑戦し続け、会社が成長するごとに不安要素が消えて自信がつく。そして、また挫折して……。これを何回も繰り返すことで、目標はあったけど特に突出した能力がない自分が、誰よりも成長して、強い自信が持てたことは本当に驚くべきことだと語っている。

彼のストーリーには、「精一杯がんばって粘った末の挫折経験こそ、成長の種になる」という示唆がある。今現在、精一杯がんばっているけど大変な思いをしている人は多いと考える。しかし、彼のストーリーは全ての経験や想いは無駄にはならず、むしろ武器になることを示唆している。

今、私たちは、大変な状況にいる。しかし、絶対に今の経験は全て将来に役立つと考え、今やるべきことに粘り強く取り組もう。必ず未来は開くはずだから。